

さがの土地改良

佐賀県土地改良事業団体連合会
～水土里ネットさが～



〔写真〕「ため池ハザードマップ作成 ワークショップ(嬉野市)」

CONTENTS

年頭挨拶.....	1	農業農村整備事業関係予算.....	8
◇佐賀県土地改良事業団体連合会会長 田島健一		どかいれんの話題.....	9
◇佐賀県農林水産部副部長 島内利昭		①土地改良区体制強化事業統合整備推進研修(会計研修)	
◇全国土地改良事業団体連合会会長 二階俊博		②さが水土里ネット女性の会意見交換会	
◇全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問 進藤金日子		③ため池サポートセンター技術研修会	
◇全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問 宮崎雅夫		④伊万里実業高校 出前授業	
第44回全国土地改良大会 沖縄大会.....	6	⑤土地改良区新任職員研修会	
土地改良区役職員研修会.....	6	佐賀県農地水・多面的機能推進協議会.....	11
佐賀県NN推進協議会要請活動.....	7	「未来へつなごう!ふるさとの水土里 子ども絵画展」2022入選.....	12
九州NN推進協議会・土地連九州協議会要請活動.....	7	ひとこと 佐賀平野「水と歴史」の探検隊.....	13
農業農村整備の集い.....	7	お知らせ.....	13
		◇農業基盤整備基金	◇連合会手帳
		◇土地改良施設賠償保険	◇土地改良法律相談



新年のご挨拶

佐賀県土地改良事業団体連合会
会長 田島 健一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご家族ともども健やかで希望に満ちた新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。また、佐賀県土地改良事業団体連合会の運営につきましては、日頃から格別のご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、4年ぶりに大規模豪雨等による農地・農業用施設への被害が少なかったものの、新型コロナウイルス感染症の影響やロシアのウクライナへの侵攻に伴う国際情勢不安及び円安による燃油や資機材の高騰など、農業経営に様々な影響を及ぼし、大変厳しい状況でございました。

このため、電気料金の急激な高騰を受け、省エネルギー化に取り組む施設管理者に対する支援措置が講じられたところでございます。併せて、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」により、土地改良区の電気料金高騰分に対する支援が講じられたところでございます。これらの支援により、電気料金高騰による影響が相当程度軽減されるものと期待しております。

このような対策を踏まえ、農業農村整備事業関係予算につきましては、当初予算の概算決定額4,457億円、これに令和4年度補正予算として「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」、「TPP対策」及び「食料安全保障対策」を加えると総額で6,134億円となりました。令和4年度補正予算、令和5年度当初予算では、水田の畑地化や農業水利施設の省エネルギー化を促進する整備を行う場合に農家負担を軽減する仕組みが2つ追加されております。1つ目は、「麦・大豆等の生産拡大による食料安全保障の強化」として、水稲から畑作物・園芸作物への作物転換の取組割合に応じて、農家負担額を支援するものでございます。2つ目は、「農業水利施設の省エネルギー化による施設管理の効率化」として、省エネルギー化を図り、所定のエネルギー消費効率の改善を達成した場合、農家負担額を支援するものでございます。農業農村整備事業関係予算につきましては、引き続き土地改良関係団体と連携し、関係機関に強く要請してまいりたいと考えております。

ここで少し本会の新しい動向を紹介させていただきますと、昨年4月28日、「さが水土里ネット女性の会」を設立しました。この会は、水土里ネットの業務に携わる女性の活躍の場を広げる事などを目的として、活動されております。今後も様々な活動を行っていただき、農業・農村に新しい風を吹き込んで頂く事を期待しております。

結びになりますが、今後とも会員の皆様のニーズに適確に応えられる様、農業農村整備事業の推進役として尽力していくとともに、皆様方の体制強化に対してもしっかり取り組んでまいります。

本年も、会員の皆様と一丸となって「力強い佐賀の農業・農村づくり」をめざし、邁進したいと思いますので、なお一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

3 年 い さ つ



新年の御挨拶

佐賀県 農林水産部

副部長 島 内 利 昭

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から農業・農村の振興に多大な御尽力をいただいておりますことに對しまして、深く感謝を申し上げます。

昨年は、県内において鳥インフルエンザが発生し、2017年以降の発生となり、関係者の皆様方には、大変な不安を抱えられた日々を過ごされたのではないかと思います。この対応には、関係者が一丸となり、発生から42時間という迅速な防疫措置がなされた結果、近辺農場で新たな発生もなく終息し、対応に当たられた皆様方に改めて感謝を申し上げます。

本県では、今年度、「佐賀県『食』と『農』の振興計画2019」の見直しを行っています。今回の見直しは、計画策定後、農業・農村を取り巻く経済・社会情勢の変化や、「みどりの食料システム戦略」策定など国の新たな動きが見られる中、この3年間の取組成果を踏まえ、現計画から継続する取組と追加・強化すべき取組を新たに盛り込むことにより、「稼げる農業の確立」及び「活力ある農村の実現」の好循環をさらに加速させることを目指すものです。

特に、園芸農業産出額を令和10年度までに888億円に拡大するため、令和元年度から「さが園芸生産888億円推進運動」や、佐賀平野の内水氾濫軽減対策として令和3年度から「プロジェクト I F」を積極的に進めているところです。

これらの取組を効果的に進めるためには、それぞれの地域が描く農業・農村の将来像の実現に向けて、担い手の確保や担い手への農地の集約、農地・農業水利施設の効率化や施設の管理の適正化などを、地域の農業者はもとより、市町、土地改良区など関係者が目標を一にして取り組むことが重要と考えます。

一方、国においては「新しい農村政策の在り方」が令和4年4月にとりまとめられ、「地方への人の流れを加速化させ持続的低密度社会を実現するための新しい農村政策の構築」について具体的施策の方向性が示されました。農業農村整備事業関係予算については、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策やTPP対策等を含む令和4年度補正予算と令和5年度当初予算と合わせて、本年度と同程度の予算が確保される見込みとなりました。

県といたしましても、引き続き予算の確保に努めるとともに、市町や土地改良区、農業者等、関係される方々の意見に十分耳を傾けながら、地域が描く将来像の実現に向けて、しっかり支援してまいりますので、皆様方のお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

会員の皆様方の益々の御健勝と御多幸を祈念しまして年頭の挨拶と致します。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
会 長 二 階 俊 博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の七割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年、参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます。私の新年の御挨拶といたします。

3 年 い さ つ



新年のご挨拶

全国土地改良事業団体連合会会長会議

顧問 進 藤 金 日 子

新年、明けましておめでとうございます。佐賀県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいっている覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、地域の要望に応えられる必要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、ロシアのウクライナへの侵略によるエネルギー価格、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰等があり、これらは物価高として国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じていますが、物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいっている覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識し、食料安全保障の強化の必要性も痛感しております。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望の下、推進することが重要です。今後も予算を安定的に確保し、貴重な予算を適切に執行し、成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

2023年 年頭あいさつ



新年のご挨拶

全国土地改良事業団体連合会会長会議

顧問 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。佐賀県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、日頃より地域の水と土を守り、佐賀農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業等の円滑な推進ならびに農業水利施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の活動に多大なるご支援とご指導を賜っておりますことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間、多くのご要望等をお受けし、一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、うち農業農村整備事業関係については、1,677億円が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設の電力料金高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4,457億円が計上され、合計額6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、一方、国内では、食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められております。国内の食料生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向にも対応するスマート農業の取り組みを含めた土地改良の促進、農業農村関係人口の拡大などを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでにも増して現場主義に徹し、皆様から現場や地域の課題をしっかりと伺いしてお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、佐賀県土地改良事業団体連合会の益々のご発展と皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

「第44回全国土地改良大会沖縄大会」開催



挨拶する全土連二階会長



全国土地改良事業功績者表彰受賞者
江里口市長(左)江頭理事長(右)

令和4年11月22日、第44回全国土地改良大会(全国水土里ネット・水土里ネットおきなわ主催、農林水産省・沖縄県ほか後援)が沖縄県沖縄市の沖縄アリーナで開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により一昨年は中止、昨年はオンラインでの開催であったことから、制限のない大会としては3年振りの開催となりました。

式典において全国土地改良事業功績者表彰が行われ、本県からは永年にわたり土地改良事業の推進や地域農業の振興に貢献された功績が認められ、『農林水産大臣表彰』に江里口秀次氏(小城市長)、『全国土地改良事業団体連合会長表彰』に江頭幸氏(川副町土地改良区理事長)が受賞されました。

第45回全国土地改良大会は、令和5年10月11日に福井県で開催される予定です。

令和4年度 土地改良区役職員研修会を開催



県農地整備課 江口課長(来賓挨拶)



全土連 山田部長(講師)



研修会状況

県内の土地改良区役職員を対象に佐賀市(メートプラザ佐賀)において、新型コロナウイルス感染対策を講じ研修会を開催しました。

土地改良区組合員の高齢化や土地持ち非農家の増加、大規模経営体と小規模経営体との二極分化など、農業・農村構造の変化に直面していることを背景に、今回の研修会では土地改良区の運営基盤強化を図り、持続可能な組織運営体制の確立に取り組んでいただくための演題を設け、138名の方が参加されました。

具体的な内容としては、農業の持続的な発展に向けて農村地域の実情に応じた管理体制へ移行する等の観点から、土地改良法の一部が改正されており、加えて今後の土地改良区運営等にも直接関わる講義でありました。

また、佐賀県内における地域農業の将来像の実現に向けた取組事例として8地区が紹介され、こうした取組みを進めるために必要な手段(事業)の具体化に向けて、各地域の関係者による徹底的な話し合いが重要であることがわかりました。

他方、土地改良関係においても男女共同参画に取り組むことで多様な感性が取り入れられ、今まで気づかなかった新たな展開が期待されます。

本研修会が土地改良区運営の一助になれば幸いです。

日 時：令和4年8月31日(水曜日) 13時30分～

場 所：メートプラザ佐賀「多目的ホール」

参加者数：138名

演 題：(1)「土地改良制度の見直しについて」

講師：九州農政局 農村振興部 土地改良管理課 課長 中村 博文

(2)「佐賀県の農業農村整備事業について」

講師：佐賀県 農林水産部 農地整備課 管理担当 係長 山口 祐輔

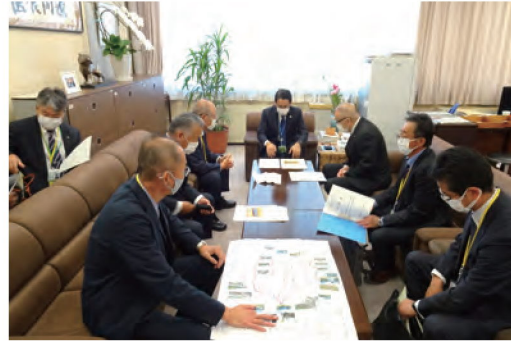
(3)「土地改良団体における男女共同参画について」

講師：全国土地改良事業団体連合会 システム開発部 部長 山田 淳

佐賀県NN推進協議会が要請活動を実施



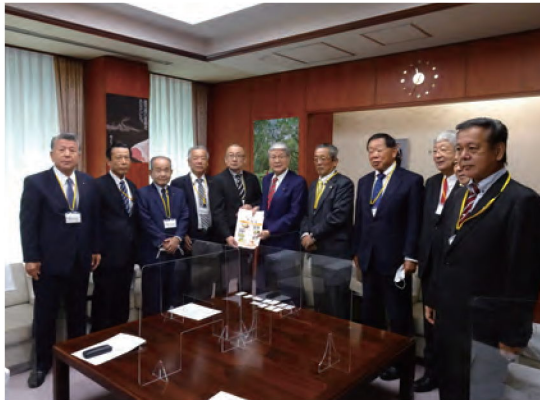
宮本周司財務大臣政務官へ要望書を手交



青山豊久農水省農村振興局長へ説明

令和4年10月19～20日、佐賀県農業農村整備事業推進協議会(江里口秀次会長)が関係国会議員、農林水産省、財務省へ佐賀県の農業農村の現状を説明し、地域の要望に十分応えられる令和5年度予算の確保や、農村地域の防災減災対策及び土地改良区の運営基盤強化などについて要請活動を実施しました。

九州NN推進協議会・土地連九州協議会が要請活動を実施



野村哲郎農水大臣へ要望書を手交



秋野公造財務副大臣へ説明

令和4年10月21日、九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会合同で関係国会議員及び農林水産省、財務省、自民党本部へ要請活動を実施しました。本会の田島健一会長(白石町長)を含む九州各県代表者が出席し、九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進について、野村哲郎農林水産大臣、秋野公造財務副大臣、青山豊久農村振興局長などに面談し要望書を手交しました。

「農業農村整備の集い」開催

令和4年10月20日、東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて全国水土里ネット(二階俊博会長)主催による「農業農村整備の集い」が開催されました。農業農村整備事業の推進と令和5年度当初予算の獲得等に向け、全国から農業農村整備関係者約1100名が集い、藤木眞也農林水産大臣政務官、全国水土里ネット



全土連二階会長挨拶

会長会議顧問である進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員をはじめ多数の国会議員や農林水産省幹部の方々が出席されました。

「集い」は主催者である二階会長の、「いよいよ男女共同参画の取組みを本格化させて行く時が来た。闘う土地改良は限りなく続く。男女共に一致団結して、更なる闘いを続けていただくことを願います。」と力強い挨拶で始まりました。水土里ネット女性の会初代会長を務められ、都道府県の女性の会設立に尽力されるなど、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践された水土里ネット山梨の萩原文巳総務課長が感謝状を授与されるなど盛会のうちに終了しました。

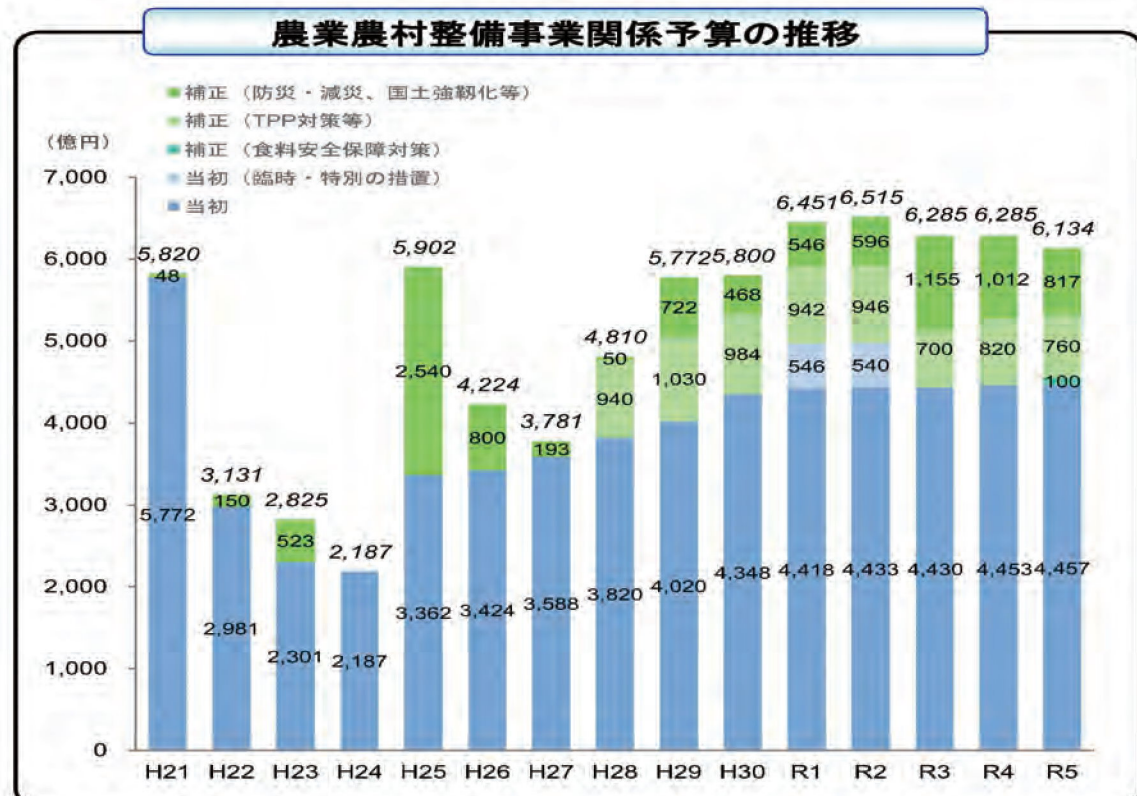
○農業農村整備事業関係予算概算決定

農業農村整備事業関係の令和5年度当初予算4,457億円（対前年度比100.1%）が示されました。また、食料安全保障の強化に向けた構造転換対策、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施、防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進費用として、令和4年度補正予算1,677億円が計上され、これらの総額は6,134億円となりました。

（農林水産省資料より引用）

令和5年度予算等				
（単位：億円）				
	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算 A	令和4年度 補正予算 B	合計 A+B
農業農村整備事業(公共)	3,321	3,323 (100.1%)	1,677	5,000
農業農村整備関連事業(非公共) 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業、農山漁村振興交付金〕	540	543 (100.6%)	－	543
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	591 (100.0%)	－	591
計	4,453	4,457 (100.1%)	1,677	6,134

注：計数は四捨五入によっているのので、端数において合計とは一致しないものがある。



どかいねんの話題

土地改良区体制強化事業統合整備推進研修(会計研修)

令和4年9月14日、全国水土里ネット主催による「令和4年度土地改良区体制強化事業統合整備推進研修」が開催されました。全国水土里ネットの担当者による説明のほか、県内土地改良区同士の情報交換の場であることから、佐賀市内(グランデはがくれ)において69名が集まりました。土地改良区における貸借対照表を用いた財務分析や単式簿記方式を継続した貸借対照表の作成マニュアルなどを熱心に受講されていました。



全土連による研修を受講する土地改良区職員

「さが水土里ネット女性の会」意見交換会を開催!

令和4年9月14日(水)、佐賀市(グランデはがくれ)において、「さが水土里ネット女性の会」意見交換会に、土地改良区と県土連合わせた女性の会会員31名のうち22名が参加されました。

はじめに、西田会長(川登土地改良区)の「一日も早いコロナの終息を願いながら今後の活動を進めて参りたい。」という挨拶があり、議事は令和5年度の活動計画について確認し、“まずは会員同士の親睦を深める活動をする!”という方針を決めました。

その後、土地改良区の課題等について意見を交わし、有意義な時間となりました。



意見交換会の様子



西田会長の挨拶(左端)

2年目を迎えたため池サポートセンター技術研修会

令和3年6月に開設されたサポートセンターは2年目を迎え、少しずつ認知度が高まってきました。ため池の現地相談は昨年の19件を上回る21件(12月末時点)となり、ため池への関心も高まっていることを実感しています。今年度は、昨年のコロナウイルス感染拡大や、豪雨により出来なかった「ため池技術研修会」を県内6カ所にて開催し、合計220人の管理者に参加していただきました。今後もこのような広報活動にも力を入れ、多くの方にサポートセンターの存在を知っていただき、少しでも管理者、受益者、周辺の住民の不安を取り除いていけたらと思います。



伊万里市 説明会状況 12月14日

どかいわんの話題

高校生へ出前授業を開催しました。

県内農業系高校で毎年実施されている「佐賀県学校農業クラブ連盟大会平板測量競技会」をサポートしている繋がりから、11月7日(月)に伊万里実業高校において測量に関する最新技術の紹介と機器操作講習を本会職員による出前授業として開催しました。

高校生に測量の結果が調査や設計業務へどのように活用されるかを知ってもらい、今後の測量学習において、さらに理解を深めてもらうことを目的として、座学1時間と実習2時間をそれぞれ実施しました。人工衛星を活用したGNSS測量、トータルステーションによる基準点測量や設計業務に関わる電子平板、電子レベルやドローンを活用した測量手法についても講義しました。

今回、高校生への出前授業は初めての試みでありましたが、本会の業務などを知ってもらう機会にもなるので、今後も続けていきたいと考えています。



実習(ドローン活用)



座学授業

令和4年度 土地改良区新任職員研修会を開催しました。

近年、土地改良区の職員採用が増えつつあり、世代交代が進んでいる土地改良区が見受けられることや、会員からのご意見やご要望等を踏まえ、県内の土地改良区新任職員を対象に本館5階会議室において、新型コロナウイルス感染症の対策を講じ研修会を開催しました。

具体的な内容としては、「そもそも土地改良区とはどういった組織なのか」という基礎的な内容から、「農業の持続的な発展に向けて農村地域の実情に合わせた管理体制に移行する土地改良制度の見直し」など、今後の土地改良事業に携わる職員にとって有意義な内容となりました。

そのほか、会における事業内容の紹介や、GISを活用した業務の紹介、土地改良維持管理適正化事業や農業水利施設ストックマネジメント事業など、土地改良区職員の方々が直接関わってくる業務について講義を行いました。

本研修会が、今後の土地改良区運営の一助になれば幸いです。



県土連 北原部長(主催者挨拶)



県土連 井上主任(講師)

日時: 令和4年11月25日(金曜日) 13時30分～

場所: 土地改良会館 5階会議室

演題: (1)「土地改良制度の見直しについて」

講師: 佐賀県 農林水産部 農地整備課 主事 若山 貴年

(2)「佐賀県土地改良事業団体連合会の業務紹介」

講師: 佐賀県土地改良事業団体連合会 総務部 会員支援課 主任 下平 諒

(3)「農地・農業水利施設のGIS整備および利用について」

講師: 佐賀県土地改良事業団体連合会 総務部 会員支援課 主任 北村 直樹

(4)「土地改良維持管理適正化事業の概要について」

講師: 佐賀県土地改良事業団体連合会 事業部 施設管理課 係長 山口 国広

(5)「地域農業水利施設ストックマネジメント事業の概要について」

講師: 佐賀県土地改良事業団体連合会 事業部 施設管理課 主任 井上 佳史



『佐賀県農地・水多面的機能推進協議会』だより

「レンゲソウ種まき」(景観形成活動)を実施!

資源向上支払交付金(共同)の景観形成活動として、佐賀市大詫間地区で「レンゲソウ種まき」が実施されました。

およそ80aの田んぼに地元農家をはじめ、大詫間小学校全校生徒や市内の障害者施設から計100人程が集まり、レンゲソウの種が入った泥だんご約1600個を作ったあと一斉に田んぼへ投げ入れました。

大詫間農地保全会の馬場正幸会長は「教育機関や福祉事業所と連携を図ることによって非農家の方へも関心を持っていただける良い機会になり、農家にとっても今後の励みになる」と話されていました。

田んぼ一面に広がるレンゲソウ畑、来春の開花がとっても楽しみです!



▲レンゲソウの種が入った泥だんごを作る大詫間小学校生



事例発表しました!(九州フォーラム)

九州「農地・水・環境保全」フォーラムin大分(令和4年11月1日)が開催され、「大井地区環境保全会(白石町)」が活動事例発表を行いました。

資源向上支払交付金(共同活動)による農道やゲートの補修をはじめ、景観形成活動の一環として「道ばた花壇」を設置し、毎年実施している様々な花の植栽事例を紹介しました。また、交付金活動への女性参画にも重点を置き活気あふれる組織づくりを意識された大変印象に残る発表内容でありました。

今年度もコロナ過での開催となり参加人数等の制限が設けれていましたが、令和5年度は熊本県で開催予定となっておりますので、是非ご参加ください!



大井地区環境保全会役員と県協議会田島会長(左端)

組織の広域化や合併を検討する際はぜひご相談ください!

多面的機能支払交付金に関わる事務や会計などの担い手不足を理由に、今後継続的な活動の断念が課題となっています。

その対策のひとつとして、土地改良区等の外部に事務を委託することで活動の継続を図りたいと考えています。

また、組織間の広域化や合併により会計や総会資料の作成などを集約することで負担軽減が見込めます。

このような事案がありましたら、まずは解決の糸口として本協議会へぜひご相談ください。

【土地改良区が事務受託するメリット(一例)】

- 施設の老朽化や補修箇所の要望などの各集落から情報が入る
- 活動内容を他の集落へ共有(紹介)できる

【広域化のメリット(一例)】

- 事務負担の軽減(個別の各種書類が集約できる)
- 交付金の有効活用(組織間で弾力的に交付金を活用できる)
- 一括購入による経費削減(工事発注や資材購入など)

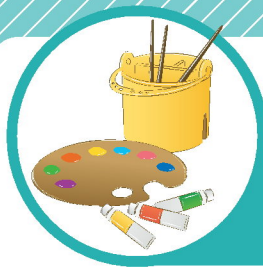
【問合せ先】

佐賀県農地・水多面的機能推進協議会

電話:(0952)24-6267

MAIL: tamensuishin@saga-nouchi-mizu.jp





「未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展」 2022入賞作品決定!

【おむすび権米衛賞】

未来を担う子供たちに絵画を通してふるさとの素晴らしさを認識し、農業農村への興味・関心を高めてもらおうと、全国の小学生以下から募集された当絵画展(主催:全国水土里ネット)の入賞作品が決定しました。昨年に引き続きコロナ禍の影響を受け、屋外での描写ができない状況での募集となりましたが、全国から約2,993点(佐賀県52点)と沢山の応募がありました。

また、2,993点の応募の中から「入賞31点」「地域団体賞44点」「入選126点」が決定し、2022年12月4日(日)から11(日)の期間、東京都美術館で展示されました。

ふるさとに想いを馳せ描かれた子ども達のコロナ禍でも負けない力強い作品の中から入選作品をご紹介します。



山口 愛結(鹿島市立古枝小学校 5年)

【入選】

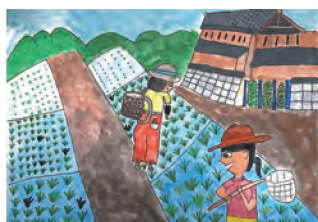


遙山 淳仁(江北町立江北小学校 4年)



小野原 夢彩(鹿島市立古枝小学校 5年)

【佳作】



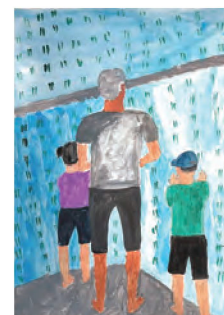
小野原 舞
(鹿島市立古枝小学校 5年)



土井 博喜
(江北町立江北小学校 2年)



江頭 舜
(江北町立江北小学校 6年)



糸山 翔
(嬉野市立久間小学校 5年)

全国水土里ネットのホームページに動画がアップされていますので、展示会場の様子や各賞の展示状況を是非御覧ください。

全土連 未来へ

×

検 索



監査路を見学する小学生

佐賀県土地改良事業団体連合会
農村整備課 松尾 幸亮

8月26日に佐賀土地改良区主催の「水と歴史」の探検隊のスタッフとして初めて参加しました。

私の役割は、監査廊までの安全の確認と参加者へのヘルメット着用の補助を行いました。

参加された小学生達は、川上頭首工でのゲートの操作説明や北山ダムでの船での探検、監査廊探検を楽しく学んでいました。

子供たちが今後も水のしくみや緑豊かな農村環境に興味を持って、大切にしてくれることを期待しています。

私も実際に監査廊まで行くのは初めてでしたので、貴重な経験となりました。また、今回の探検隊スタッフを通して、イベントが円滑に進むよう目配りや参加者への気配りができるようになりたいと改めて感じました。

お知らせ

土地改良施設賠償保険のご案内

施設種別	保険料
農 道	60円/km
用排水路	60円/km
溜池・貯水槽	250円/箇所
パイプライン	600円/km

<問合せ先>

会員支援課(0952)24-6474

市町・土地改良区が使用または管理する土地改良施設の欠陥や管理ミスなどに起因する事故で、他人へ傷害を与えたり財物を損傷させた場合など、法律上の損害賠償責任を負う場合に対し保険金をお支払いするものです。

土地改良法律相談で問題解決の糸口を!

土地改良事業(土地改良法)に関する諸問題へ本会の顧問弁護士が、法的な観点から問題解決へと努めています。相談費用は本会が負担しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

～これまでのおもな相談内容例～

- 賦課金滞納処分に関するご相談
- 過去の換地処分等に関するご相談
- 土地改良事業を円滑に遂行するためのご相談

<問合せ先>

会員支援課(0952)24-6474

非補助農業基盤整備資金をご活用ください

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助事業でない事業(県又は市町単独補助事業)についても融資の対象となります。

～融資用途の例～

- かんがい排水やほ場整備、客土等の事業を実施し農業基盤整備の整備・保全の推進を図る場合の費用
- 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分(トイレ、浴室、洗面所の改修)
- 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置、土地改良区事務所の建設や事務機等の購入費用など

利率(非補助)	融資時の利率は金融情勢により変動
償還期間	25年以内(うち措置期間10年以内)
貸付限度額	農家負担額(最低額50万円)

<問合せ先>

会員支援課(0952)24-6474

連合会手帳

主な行事(令和5年1月～3月)

開催日	内 容	開催地
1月12日	佐賀県土地改良事業団体連合会 理事会	佐賀市
1月下旬～2月上旬	佐賀県土地改良事業団体連合会 総会議案地区説明会	佐賀市
1月下旬～2月上旬	佐賀県土地改良事業団体連合会 総会議案地区説明会	伊万里市
2月15日	佐賀県土地改良事業団体連合会 第65回通常総会	佐賀市
3月23日	全国土地改良事業団体連合会 第65回通常総会	東京都

広報『さかの土地改良』2023.1 Vol.195

発行 佐賀県土地改良事業団体連合会

編集 総務部 会員支援課

〒840-0811 佐賀県佐賀市大財三丁目8番15号

☎ (0952) 24-6474(直通)

✉ kain@midorinet-saga.jp